

建築研究報告「JIS改正後のセメントを使用したコンクリートの性能に関する研究」を公表しました。

建築研究所では、建築研究報告No.156「JIS改正後のセメントを使用したコンクリートの性能に関する研究」を発刊し、ホームページ上で公開しましたのでご案内します。

建築研究所および(一社)セメント協会は、共同研究契約に基づき、JIS R 5210〔ポルトランドセメント〕が改正され普通ポルトランドセメントの少量混合成分の分量上限値を5%以下から10%以下に変更された場合に、建築基準法第37条第二号に該当するコンクリートの性能に与える影響を検証するため、検証実験を実施しました。本研究報告では、検証実験の結果を報告するとともに、JIS改正の影響を評価した結果（現行JISセメントを使用した場合と改正JISセメントを使用した場合との同等性）を報告します。

## <目次>

1. はじめに
  2. 実験の概要
  3. 実験の結果
    - 3.1 コンクリートのフレッシュ性状・強度特性検証試験
    - 3.2 高温環境下のコンクリートのフレッシュ性状確認試験
    - 3.3 高温度履歴下のモルタル・セメントペースト試験
  4. 同等性評価
    - 4.1 評価方法
    - 4.2 評価結果
  5. まとめ
- 附録

(掲載先URL)

<https://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/report/156/index.html>

以上

## (内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所  
所属 材料研究グループ  
氏名 中田清史、鹿毛忠継  
電話 029-879-0653 (直通)  
E-mail nakada@kenken.go.jp